

視察ツアー参加をご検討の皆さまへ

株式会社船井総合研究所 子育て支援部 マネージャー 児玉 梨沙

少子化の波は日本全国の保育園経営にも大きな影響を与えています。特に視察先の香川県小豆島は、年間出生数が100名に満たない厳しい状況です。その中で社会福祉法人清見福祉協会は、創意工夫と実行力で成長を遂げ、まさに超少子化時代における子育て支援の最前線モデルといえます。本ツアーでは、同法人が地域に不可欠な存在であり続ける秘訣を直接ご覧いただけます。「私たちの園も、もっと地域の子育て支援の中心となれるのではないか」「厳しい状況だからこそ、地域のためにできることがあるはずだ」とお考えの事業主の方にとって、明日からの園経営に繋がる貴重な機会となるはずです。皆様と小豆島でお会いできますことを心より楽しみにしております。



視察ツアー講座内容

第1講座	本日の視察ツアーの見どころ 本日のクリニックの趣旨や、学んでいただきたいことを解説させていただきます。	株式会社船井総合研究所 子育て支援部 チーフコンサルタント 永田屋 悠人
第2講座	【現地視察&講座】小豆島発・多角化多機能化経営の最前線! 年間出生数100名に満たない小豆島で、認定こども園や企業主導型保育園、児童発達支援・放課後等デイサービス、放課後児童クラブ(学童)、子育て支援センター、カフェ・デリ等 多岐にわたる事業を展開している社会福祉法人 清見福祉協会様。本講座では、多角化多機能化経営の最前線を実際の施設見学と理事長による解説を通して体感いただきます。	社会福祉法人 清見福祉協会 副園長 慈氏佳世子氏
第3講座	まとめ講座 本日の保育現場視察ツアーを踏まえて、明日から園で取り組んでほしいことについてお話しします。	株式会社船井総合研究所 子育て支援部 マネージャー 児玉 梨沙

主要都市から
JR高松駅までの
アクセスも良好です

行きアクセス

新幹線
博多▶高松 6:00発 / 8:50着
新大阪▶高松 6:25発 / 8:41着
飛行機
羽田空港▶高松空港 6:55発 / 8:10着

帰りアクセス

新幹線
高松▶博多 17:29発 / 20:30着
高松▶新大阪 17:29発 / 19:28着
飛行機
高松空港▶羽田空港 19:40発 / 21:00着

認定
こども園

企業主導型
保育園

インクルーシブ
保育
(児童発達支援)

放課後
児童クラブ
(学童)

スクール
(習い事)
事業

子育て
支援センター

子育て
カフェ

総菜
販売

年間出生数100人未満の地域で、
事業成長をし続ける秘訣を学ぶ!

最先端保育園 現地視察ツアー

in 小豆島

申込期限 **2025年11月10日(月)23:59まで** ※祝日や連休により変動する場合もございます

お申し込み取消時期	取消料
開催日の前日から起算して11日前まで	いただきません
開催日の前日から起算して8~10日前まで	旅行代金の20%
開催日の前日から起算して2~7日前まで	旅行代金の30%
開催日の前日	旅行代金の40%
開催日の当日	旅行代金の50%
ツアー開始後の解散または無連絡不参加	旅行代金の100%

開催4日前までに下記記載の振込先口座へご入金いただきます
ようお願い申し上げます。

振込先 三井住友銀行(0009) 近畿第一支店(974)
普通 No.5785905
口座名義(カ)フナイソウゴウケンキユウシヨ セミナーグチ

- 諸事情により、やむを得ず会場を変更する場合がございますので、会場はメールにてご確認ください。また最小催行人数に満たない場合、中止させていただく場合がございます。尚、中止の際、交通費の払戻し手数料等のお支払いはいたしかねますので、ご了承ください。
- 移動中の交通事情により解散時刻がずれ込む場合がございます。ご了承くださいませ。
- お客様のご都合で、ご参加を中止される場合は、左記の取消料をお支払いいただきます。
- ご参加を取り消される場合は、事務局宛にメールまたはお電話にてご連絡ください。キャンセル期日以降の取り消しの場合はキャンセル料として申し受けますのでご注意ください。
- ご入金の際は、税込金額でのお振込みをお願いいたします。銀行振込の場合はご入金確認後、お送りする案内(メール)をもってセミナー受付とさせていただきます。お振込みいただいたにも関わらずメールがお手元に届かない場合や、セミナー開催4日前までにお振込みできない場合は、下記お申込み担当者へご連絡ください。なお、ご入金が確認できない場合は、お申込みを取消させていただきます場合がございます。
- 添乗員は同行いたしません。担当コンサルタントが同行いたします。
- 最少催行人数10名(出発日から5日前までに最低出発人数のご予約がない場合は中止とさせていただきます。)
- 会員価格は、各種経営研究会・経営フォーラム、および社長onlineプレミアムプラン(旧:FUNAIメンバーズPlus)へご入会のお客様のお申込みに適用します。
- 詳しい旅行条件を説明した書面をお渡しいたしますので、事前にご確認の上、ご契約ください。
- 当視察セミナーでは、当社が手配した交通手段以外でのご参加はご遠慮いただいております。

お申込みはこちらからお願いたします

スマホ・タブレットの方は右記のQRコードを読み込んでいただきWebページにある申込みフォームよりお申込みいただけます。

※お申込みに関してのよくあるご質問は「船井総研 FAQ」と検索ご確認ください

お申込み HP URL <https://www.funaisoken.co.jp/seminar/129897>

旅行企画・実施:東京都知事登録旅行業第2-6793号
株式会社船井総合研究所 〒104-0028 東京都中央区八重洲二丁目2番1号
東京ミッドタウン八重洲八重洲セントラルタワー35階
TEL:03-4356-0271 FAX:03-4546-0271

お問い合わせNo. S129897



保育現場視察ツアー(小豆島)当日のスケジュール

9:30 集合(JR高松駅・受付開始9:00~)	13:45 講演
10:00 高速艇で移動(高松港▶土庄港)	15:30 バス移動(せいけんじこども園▶土庄港)
11:00 バス移動(土庄港▶せいけんじこども園)	16:30 高速艇で移動(土庄港▶高松港)
11:30 施設見学	17:30 現地解散(高松港)
12:45 昼休憩	

寺デリのランチ

お昼は大人気寺カフェのデリランチをご用意!詳細は裏面へ



ゲスト講師

社会福祉法人 清見福祉協会
副園長
慈氏 佳世子氏

■開催日時

2025年11月14日(金)

集合場所: JR高松駅
集合時間: 9:30(受付開始9:00)
(17:30 現地解散: 高松港)

■一般価格(1名様)

60,000円(税込66,000円)

■会員価格(1名様)

48,000円(税込52,800円)



毎年すぐに満席
になる大好評の
バスツアーです!

経営者・事業責任者必見!最先端の保育現場視察ツアー 2025

お問い合わせNo.
S129897

主催



サステナグロースカンパニーをもっと。
Funai Soken

株式会社船井総合研究所 サステナグローススクエア TOKYO(八重洲)
〒104-0028 東京都中央区八重洲二丁目2番1号東京ミッドタウン八重洲 八重洲セントラルタワー 35階
[TEL] 03-4223-3166 (平日 9:30 ~ 17:30) hoikuen-youchien@funaisoken.co.jp

当社ホームページからお申込みいただけます (船井総研ホームページ[www.funaisoken.co.jp] 右上検索窓に[お問い合わせ No.]を入力してください)

■内容に関するお問い合わせ→永田屋 悠人 (ナガタヤ ユウト)、お申込みに関するお問い合わせ→小倉 花織 (オグラ カオリ)

129897



年間出生数100人未満の小豆島で学ぶ!

子ども・子育て支援を核とした事業展開で地域社会を支え盛り上げる秘訣を現地で直接体感する1日

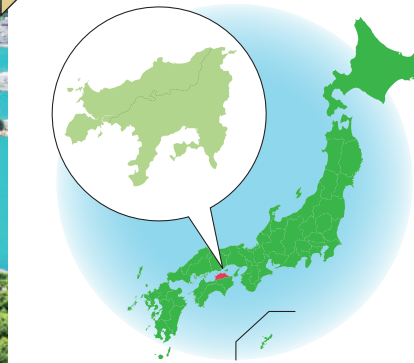
視察先ゲスト講師から皆さまへ

社会福祉法人 清見福祉協会 副園長 慈氏 佳世子氏

皆さま、こんにちは。社会福祉法人清見福祉協会で理事を務めております、慈氏(じし)でございます。

この度は、当法人の視察に興味を持っていただき、心より感謝申し上げます。当法人は、「事業を大きくしたい」という考えから始まったわけではございません。目の前にいらっしゃる利用者の方々、ともに働く職員の声に真摯に耳を傾け、「今、私たちに何が必要とされているのだろう」と一つひとつ丁寧に答え続けているうちに、気づけば、いつの間にか大きな家族のような組織へと成長しておりました。

その結果として、ありがたいことに様々なご縁をいただき、子どもたちに多様で豊かな経験を届ける機会にも恵まれるようになりました。仲間である職員も少しずつ増え、今では「お互いに助け合いながらお休みも取りやすく、家庭との両立もしやすい職場になりました」と嬉しい言葉をもらえるようになりました。みなさまには、ぜひ当法人のありのままの姿をご覧いただき、これからの子どもたち、そして子育て支援の未来について、ゆっくりとお話しができますことを、心より楽しみにしております。小豆島にて、みなさまのお越しをお待ちしております。皆様と小豆島でお会いできますことを心より楽しみにしております。



香川県小豆島とは?

瀬戸内海に浮かぶ小豆島は、人口約25,000人、日本で19番目に大きい島です。温暖な気候と豊かな自然に恵まれ、「オリーブ栽培発祥の地」として、また醤油や手延べ素麺などの伝統産業が根付く食文化の宝庫としても知られています。近年はアートの島としても国内外から多くの人々を惹きつけていますが、その一方で、日本の多くの地方が直面する少子高齢化と人口減少が特に深刻な課題となっています。

今回の視察ツアーは、魅力と課題が共存する「日本の縮図」のような小豆島で、「なぜ、事業を拡大し、地域を支え続けることができるのか」—その答えとなる先進モデルを学ぶ、またとない機会です。

社会福祉法人 清見福祉協会 事業拡大への歩み

草壁保育園
(現:せいけんじこども園)
開設

社会福祉法人
清見福祉協会 認可

内海放課後児童クラブ
第2教室 開設

土庄放課後児童クラブ 開設

「隣町に住んでいるため、子どもの預け先がなくパート勤務しかできない」。一人の職員の切実な相談が、町を越えて新しい学童クラブを設立するきっかけとなりました。



スクール事業・カフェ事業 開始

保護者からの「こんな習い事があったら」という要望と、職員の「バリエーションが得意」「バリスタ資格がある」といった隠れた才能が結びつき、多彩な教室や親子で寛げるカフェが誕生しました。



事業所内保育所(小豆島中央病院 院内保育所) あずきっこ 受託開始

地域医療の拠点である病院から「院内保育所の運営を」と相談を受け、専門性を活かして受託。医療従事者の方々が安心して働ける環境を支えています。



池田放課後児童クラブ 受託開始

行政が運営していた学童クラブが、職員の高齢化により閉所の危機に。「子どもたちの居場所を守ってほしい」という町の要請を受け、運営を引き継ぎました。

児童発達支援・放課後等デイサービス 開始

発達に不安がある」という保護者の気持ちと、現場で向き合う職員の想いを形にし、誰もが共に育つインクルーシブな支援事業を開始しました。



自主事業「子育て支援センター」「一時預かり保育」「内海放課後児童クラブ」などを開始

自分も子育て中の時期。「保護者として、地域に今必要だ」と感じたことを、補助金に頼らず自主事業としてスタートさせました。その活動が認められ、のちに町の事業へと繋がっていきました。



草壁保育園を幼保連携型認定こども園に移行

「働いてなくても、この園に子どもを通わせたい」。子育て支援センターを利用する保護者の方からのそんな嬉しい声に応え、1号認定(教育標準時間認定)のお子さんも受け入れられる「認定こども園」へと移行しました。



企業主導型保育園 草壁保育園(小豆島町) 開設

一人の職員の妊娠を機に「育休後も安心して戻れるよう、自分の町にも園がほしい」という声が上がりました。その想いに応えるだけでなく、本園がある町にも同時に開設し、法人全体で働きやすい環境を整えました。



清見保育園(土庄町) 開設

土庄放課後児童クラブ 第3教室 開始

利用ニーズが高まる中、なんと保護者の皆様による署名活動も。地域コミュニティの力強い後押しを受け、3つ目の教室が誕生しました。

子育て支援センター「すきっぷ」 開設(土庄町) 支援センター内にフォトスタジオも併設

遠方から時間をかけて支援センターに通ってくださる親子がいることに気づき、「もっと身近な場所で支えたい」という想いから土庄町に新しい拠点を開設しました。親子が思い出を残せるフォトスタジオも併設しました。



寺デリ(惣菜販売) 開始

「園の美味しい給食を夕食にも」という声から、惣菜販売を始めました。

社会福祉法人 清見福祉協会のここがすごい!

①逆境をチャンスに!人口減少地域で事業売上は5年前の2倍に!

利用者や職員の「あったらいいな」の声を起点に、保育を核とした新たな収益の柱を次々と確立。地域ニーズに応える姿勢が次の事業を生む好循環を創り出し、持続的成長を実現しています。

②保育の枠を超える!地域に不可欠な多角化・多機能化戦略

認定こども園など安定した公的事业を基盤に、民間ならではの柔軟な発想で事業を多角化。カフェや惣菜販売、スクール(習い事)事業など、保育の枠を超えて地域課題を解決。行政では手の届かない領域をカバーすることで、地域にとって「唯一無二」の存在となっています。

③島内外から人が集まる、育つ、輝く!魅力ある組織づくりと人材活用

U・Iターン者を含む多様な人材が島内外から集結。その魅力の核は、職員の「やりたい!」を事業化するボトムアップの文化です。職員の想いから新規事業が生まれるなど、一人ひとりの挑戦を応援する風土が、人が集まり、育ち、輝く強い組織を作っています。

このような方に
オススメの
ツアーです!

- ✓ モデル園における実際の保育現場を見学したい方
- ✓ インクルーシブ保育(児童発達支援)や放課後児童クラブ、スクール事業、子育てカフェなど、保育園における付加事業に興味がある方
- ✓ 国の動向や地域ニーズをもとに事業展開を行いたい方
- ✓ 地域の少子高齢化が進み、危機感を感じている方
- ✓ 少子高齢化が深刻化する中で、他に負けない地域一番園を目指したい方
- ✓ 地域の子育て世帯を多面的に支えられる事業を行いたい方
- ✓ 新たな事業を検討したいが、何が自分たちに合うかわからない方